

【第三者評価 基準】 ※「→」は評価点数換算
A…施策は非常に良好に進展している → 5

1 あらゆる分野における男女共同参画														
2 労働の場における男女共同参画														
(2) 職場での女性の活躍推進														
13 男女双方の視点を取り入れた防災対策の推進			防災危機管理課		各委員の評価									
			4	3	3	4	4	4	4	4	4	3	3	5
コメント	実際に訓練に参加する中で、避難所に関しては、エリア分けやテントの活用で配慮が進んでいると感じます。訓練に参加しているメンバーはあまり変わらないため、自治会等の役員のみならず住民一人ひとりが自分の事として意識できるような働きかけを続けてください。													
	避難所開設訓練において、関係機関が連携し、特に女性の視点に立って、地域の多様なニーズについての配慮がなされている。引き続き、避難所協議会の立ち上げ等にご尽力頂きたい。													
	予想していた以上に細やかな配慮に基づき計画がなされており、日頃からの災害想定を綿密に行っていることがヒアリング内容から伺うことができました。課題として地域により自治組織が機能し辛い状況にある点に言及されていましたが、100%完璧に行き渡るにはそれなりの時間や人的要素に左右されるかと思しますので、このまま計画を進めていただくことで解消していくものと思われ、B評価としました。													
	避難所開設の中で女性の視点で設定した授乳室、更衣室などが配置されてきているのは互いの情報が共有され具体化されているということでしょう。開設にあたって何でも相談でき、決定できるような女性のリーダーが協議会の中で育っていくように努めてほしい。													
	男女双方の視点、特に初動班に女性職員を加えて女性への配慮を積極的に取り入れた避難所運営をしていること、また、声をあげにくい社会的弱者の要望にも耳を傾ける姿勢から、この評価といたしました。災害時に安心安全の避難所開設のために、防災危機管理課には、地域や学校に、より積極的な働きかけをお願いいたします。													
	既に立ち上がっている協議会についてはおおむね計画通り進んでいると思いますが、未だ立上っていない地域について、どうしたら協議会を立ち上げることができるのか積極的に検討、推進していただきたい。具体的な計画、目標を考えた上で記載していただきたい。													
	基本的な対応ができているのでこの評価としました。 一歩進んで、まだ見えていない問題点が自然に浮かび上がってくるような仕組み(例えば男女の数のバランスのとれた協議会や連絡会など)を作ってほしい。													
	①「各避難所に初動班職員として女性職員を1名以上配置するとともに～」と記載されてあります。 「初動班職員」ならば、各、トイレ、授乳室等々に、多数の女性職員を配置、適正な役割分担の活かし方を検討ねがいます。 ②「避難所協議会」のシステムを教えてください。昨今、緊急な問題です。													
	必要な取組を着実に進めていることが見受けられるため、この評価としました。 今後も引き続き、同様の取組を進めるとともに、セクシュアル・マイノリティに配慮した避難所運営の在り方の検討や、既存の地域リーダーや防災リーダーに対する、ジェンダー視点の必要性の説明なども進めていただけると幸いです。 すでにご存じかとは思いますが、内閣府男女局の資料等、参考になさってください。https://www.gender.go.jp/policy/saigai/suishin/index.html													
	初動班への女性職員の配置など確実な進歩があると感じました。声を上げにくい要望への配慮は素晴らしいので、これらへの具体的な取り組みを示していただきたいと思います。ただ、まずは協議会がなくては参加者の多様化等進められないと思われます。協議会が立ち上がっていない地域の数と、それに対しての働きかけやその結果を具体的に記述することは難しいでしょうか。													
判定理由及び改善策の提言など(案)	「取組と実績」「評価の内容」において、具体的かつ詳細に記載されており、取組活動の実情がよく解りました。また、今後の課題において、女性視点の対応に加え、「様々な属性の積極的な参加を呼びかけていく必要がある」と分析、コメントをされており、積極的な姿勢を感じることができました。大変重要な取組の一つかと思うので、引き続き取組推進に努めていただきたいです。													
	初動班職員として女性職員を1名以上配置することで、前回とは異なる声を吸い上げることができたと評価する。多様性の時代を踏まえ、来年度は様々な属性の方に参加をするという目標もよいかと思えます。本防災対策を最も必要としている方々は、病気をお持ちの方だったり、お年寄り、障害を持っていたり、大きな声をあげられない方だと思うので、現場の方でコミュニケーションをとり、情報収集を行いながら進めて頂きたいと思えます。													
	避難所開設における女性の視点の取り入れや初動班職員に女性を1名配置しているという対応が評価できます。女性や性的マイノリティの方が求める多様なニーズに積極的に対応しようとする姿勢を感じることができました。全地域の避難所協議会の立ち上げの推進についても、引き続き検討してください。													

評価平均
3.75
評価
B

第6次計画 事業番号
13

【第三者評価 基準】 ※「→」は評価点数換算
A…施策は非常に良好に進展している → 5
B…施策は、良好に進展している → 4
C…現状維持 → 3
D…施策がやや後退している → 2

Ⅲ人権が尊重される社会の形成

2人権の尊重

(3)性的マイノリティへの理解促進と支援

		各委員の評価												
64性的マイノリティに関する理解の促進		多様性社会推進課	3	3	4	4	4	4	3	4	4	3	3	5
コメント	他市との共催だとしても、啓発のための事業を行ったこと、教育啓発として学童クラブ指導員に研修を行ったことは評価できます。今後は市独自の事業を検討する他、特に教育現場での支援を続けていただきたいと思います。													
	若年層性的マイノリティ支援事業として多摩地域11市と連携して取組んでおり、高く評価できる。6年度以降も、新たな取組みを鋭意進めて頂きたい。													
	11市連携による東京レインボープライドへの出展については大きく評価できるものです。費用対効果の観点で次年度以降は未定とのことですが、その点は冷静に見極めていただければと存じます。一方、府中市内において府中市民向けの計活動により力を入れていただきたいと思います。例えばけやき並木を日曜日に道路開放する催しがありますが、まちづくり府中などと連携してレインボーデーのような企画を行ったり、プラッツで開催する府中市市民協働まつりと連携して、全体コンセプトをダイバシティの観点で実施する等、既存の枠から少し広げ、他者との連携を通じてL G B T課題の周知と共感の輪を広げていただきたいと思います。													
	5年度に学童クラブ職員に啓発研修を実施できたのは、一歩前進したということだと思いますが、学校という教育機関で幼少期より学ぶことが大事と考えますので5年度の目標にあるように校長会や学校の訪問を積極的に行い研修を実施してほしいです。													
	令和5年度は市内の啓蒙活動の取組みが地道に進んでいることからこの評価といたしました。令和6年度は、教育委員会や学校校長会、各学校の養護教諭に更にアプローチを進めること、多様性社会推進課以外の部署にも協力を仰いで啓蒙活動の周知を図っていただきたいと思います。													
	ヒアリングを通じて、パートナーシップ宣誓制度や同性婚をテーマとした講演会の実施、市の職員を対象とした人権啓発研修の実施などがあり、様々な事業を行っていることが分かりました。次年度の計画、目標はもっと具体的に書いていただけるといいと思います。													
	前年度と比較して様々な取組みを実施できているのでこの評価としました。 11市連携事業の継続が難しくなるのはなぜなのか、「取組と実績」の最後の・居場所事業にじーず多摩を各市持ち回りで・の意味もわかりにくい、ので、もう少し説明を付け加えていただきたいと思います。													
	昨年度の実施せずから一転。今年度はレインボープライドに出店。ブース来場者数約1600人。 学童クラブ指導者研修、受講者数80名。チラシ、パネル等を作成して、事業周知を行った。例えば、フチャールでも掲示していただければ、だれでも、もっと周知が計れたと思います。対象者の受講は別問題として。6年度は縮小、廃止の可能性があるそうですが、是非、新たな啓発活動に検討いただきたいと思います。居場所事業 に一ず多摩のチラシも見ました。													
	多摩地域11市での連携事業で幅広い取組みを行っていることから、この評価としました。令和7年度以降、この枠組みが縮小・廃止等の可能性もあるとのことなので、できるだけ早期に府中市独自の取組に着手していただきたいと思います。男女共同参画センターの看板を掲げている以上、フチャールの主催事業として、LGBTQ+をテーマにした講演会があることが望ましいとは思いますが、昨今の社会情勢から、理解のない方からのバッシング等も懸念されるので、無理のない範囲で取り組んでいただければと思います。													
	幅広い取組みを地道に行っていることを評価します。ただ、前年度目標として掲げていた学校関係者への研修について果たせていないことが残念です。PTA等を通じて保護者への啓発活動を行うというのは可能でしょうか。ゆくゆくは、保護者からの要望に対応する形で学校現場関係者への研修の必要性が認識されることがあるかもしれません。													
東京レインボープライドでのブース出展、学童クラブ指導員を対象とした研修など、様々な取組を実施されており、大きな活動成果だと思います。意識啓発は効果の視覚化が難しいものの、非常に重要な取組だと思いますので、ぜひ継続可能な取組や小中学校などの教育現場での研修の実施等に繋げていただきたいと思います。														
性的マイノリティに関する理解への推進は、多くの方への周知がまず一歩ということで、それに向け計画的に、取組を進められていると評価する。また、学童クラブ指導員への教育を進めてくのは、学校で意識的に教育をおこなっていることを考えると、良い取り組みだと考える。今後ぜひ、各所の垣根を超え、連携し、より多くの方への理解促進を加速して頂きたいと考えます。														
判定理由及び改善策の提言など（案）	東京レインボープライドでの多摩地域11市としてのブース出展や、学童クラブ指導員を対象とした研修の実施など、積極的な取組み姿勢を評価します。今後は、取組みの周知も行ってください。また、教育機関での研修実施の実現を目指して、引き続きアプローチを進めていただきたいと思います。来年度以降は、実績の記載を詳細に記載してください。													

評価平均
3.67
評価
B

第6次計画 事業番号
64